

笑顔で対話

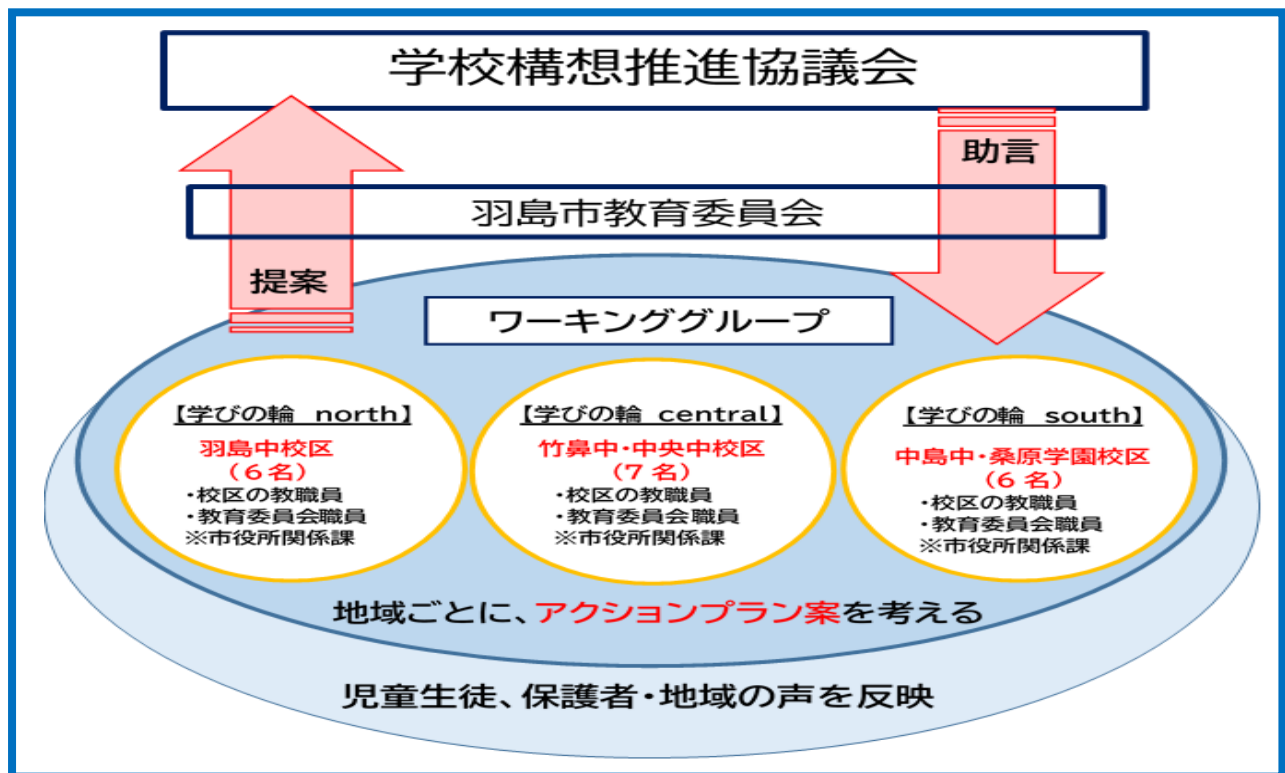
羽島市教育委員会

10年後・20年後の羽島市の学校を考えよう ～学校構想推進協議会～

羽島市の将来の学校像について昨年11月「新しい時代の学校構想検討委員会」より答申を受けました。今年度はその答申の具現に向け、下の図のように、「学校構想推進協議会」とその下部組織となる「学校構想推進協議会ワーキンググループ」を設置し、10年後、20年後の羽島市の学校教育について、北部(羽島中校区)・中部(竹鼻中・中央中校区)・南部(中島中・桑原学園校区)の具体的な方針を考えていきます。

児童生徒、保護者・地域の皆さんの意見を踏まえ、最終的に羽島市教育委員会が**羽島市学校構想アクションプラン(仮称)**を作成します。

話し合いをどのように進めていくのか



6月3日に第1回学校構想推進協議会、7月9日に第1回ワーキンググループ会議が開催されました。

(推進協議会委員の主な意見)

- ・ **適正規模でない**と育まらない資質・能力もある。
- ・ 学校のあり方について **様々な立場の意見を聞き**、考えていく必要がある。
- ・ 「**時代に合った資質・能力は何か**」を議論していくことが大切。
- ・ 就学前や低学年は小規模(少人数)のほうが望ましい。
- ・ **羽島市の強みを活かした教育**を考えることが重要。

など



市のホームページにて会議要旨を公開しております。
【会議要旨】<https://www.city.hashima.lg.jp/6450.html>

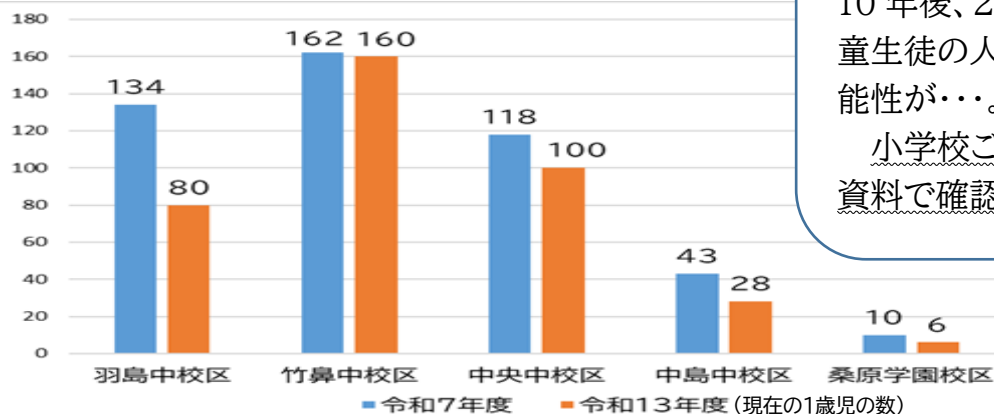
【次頁に続く】



10年後、20年後の学校を考える上で検討が必要な事項

① 羽島市の児童生徒の人数

中学校区別の小学1年生の児童数の推移(推測値)



北部や南部の学校の減少率が著しいことが分かります。10年後、20年後はさらに児童生徒の人数が減っていく可能性が…。

小学校ごとの人数は別添資料で確認できます。



② 学校施設の築年数 (※学校施設の耐用年数は70～80年)

ワーキンググループ別の学校施設 築年数の面積割合

	北部 (羽島中校区)	中部 (竹鼻中・中央中校区)	南部 (中島中・桑原学園校区)
築50年以上	24%	39%	15%
築40年～49年	57%	22%	57%

10年後、20年後には、どの地域も多くの施設の建て替えを検討していくことになります。



上記の事項も踏まえ、**児童生徒にとって望ましい学校のあり方**を考えていきます。

今後の予定

- ・ 7月28日(月)～31日(木) 第2回ワーキンググループ会議(地域ごとに)
- ・ 10月14日(火) 第2回学校構想推進協議会

※今後、児童生徒、保護者・地域・教職員等を対象に意見を伺う予定です。

詳しいことが決まりましたら、改めてお知らせします。



羽島市教育委員会事務局 教育政策課
〒501-6292 羽島市竹鼻町 55 番地
TEL (058) 393-4611 FAX (058) 391-0906
Email : kyoiku@city.hashima.lg.jp